

会員及び関係各位

日本道德教育学会第 83 回（平成 26 年度春季）大会のご案内（最終）

日本道德教育学会会長 押谷由夫
第 83 回大会運営委員長 押谷由夫

会員及び関係各位におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

今年は道德教育改革においてエポックメイキングな年となります。学校教育においては道德の教科化について具体化されることが予想されます。また、東日本大震災からの復興も本格化します。さらに 6 年後の東京オリンピック・パラリンピックに向けて始動します

このようなときに、本学会では、学会の役割を認識しつつ、より広く国民に道德教育の大切さを訴え関心をもっていただけるようにと以下のようなテーマを設定し、83 回大会を開催する運びとなりました。ぜひ、多数の皆様にご参加を賜りたく、ここにご案内を申し上げます。

● 大会テーマ： **始めましょう！ モラル・ジャパン・プロジェクト**

—「みんなの道德」を目指して、考え、話し合しましょう—

《大会テーマ設定の趣旨》

道德教育は、一人一人の課題であり、国家社会の課題でもあります。道德教育は、研究レベルはもちろんのこと、国民の意識や行動レベルにおいて、また政策レベルにおいても極めて重視される必要があります。現在検討されている道德の特別の教科化もこのような広い視点から考えることが大切です。本学会においては、この大会をこれからのわが国の道德教育を牽引する役割を果たそうとする心意気を示したいと願い、大会テーマを決めました。

学会として考えるモラル・ジャパン・プロジェクトは、大きく 3 つを柱にします。道德教育の学問体系の確立、道德の特別の教科化による学校教育改革、世界に発信する日本の道德心です。このことを中核に据え、本大会においては、シンポジウムや講演、研究発表などを企画しています。

●日時：平成 26 年 7 月 5 日（土）～6 日（日）

●会場：昭和女子大学

●主催：日本道德教育学会

●後援：文部科学省、東京都教育委員会、世田谷区教育委員会、全国小学校道德教育研究会、全日本中学校道德教育研究会、東京都小学校道德教育研究会、東京都中学校道德教育研究会、全国公民科・社会科教育研究会、公益社団法人日本 P T A 全国協議会、社会福祉法人世田谷ボランティア協会（申請中を含みます）

●内容：基調講演、課題研究、自由研究発表、シンポジウム

●参加費：会員参加費 2,000 円、非会員参加費 2 日間 2,000 円 1 日 1,000 円

●懇親会費：4,000 円

●弁当：7 月 6 日のみですが、参加申込書で事前にお申し込みください。1,000 円（お茶付）

●大会運営事務局：所在地 〒154-8533 東京都世田谷区太子堂 1-7
昭和女子大学 押谷由夫研究室（第 83 回大会事務局）

TEL&FAX 03-3411-6358

e-mail oshitani@swu.ac.jp

学会ホームページ <http://doutoku-gakkai.sakura.ne.jp/>

押谷由夫ホームページ <http://oshitani.sakura.ne.jp/>

<大会プログラム>

第1日目 7月5日(土)

10:30~12:00 理事会(学園本部館1階 第1会議室)

12:00~ 受付(グリーンホール1階 フロア)

12:40~12:50 開会式(グリーンホール)

<総合司会>

永田繁雄(東京学芸大学・本会副会長)

大会開催校挨拶

坂東真理子(昭和女子大学学長・理事長)

日本道德教育学会会長挨拶

押谷由夫(昭和女子大学教授)

12:50~14:50 シンポジウム1(グリーンホール)

「道德教育改革を支える理論を構築する」

道德教育研究は学際的視点を必要とします。また理論と実践の統合も求められます。道德教育改革はそれらを踏まえて行われることが大切です。本シンポジウムにおいては、これからの道德教育改革を支える道德教育理論の構築に向けて議論を深めます。

コーディネーター 行安茂(岡山大学名誉教授、本学会会長代行)

シンポジスト 宮寺晃夫(筑波大学名誉教授)

貝塚茂樹(武蔵野大学教授)

伴恒信(鳴門教育大学教授)

15:10~18:00 自由研究発表(80年館5階、80年館西側5,4,3階 各教室)
(研究発表20分、質疑応答10分、最後に全体協議20分)

■第1部会 道德教育理論研究部会Ⅰ (80年館5階 5S31教室)

司会: 秋山博正(くらしき作陽大学) 永田繁雄(東京学芸大学)

1. 15:10~15:40 道德言明の確実性は言えるか
ーウイトゲンシュタイン『確実性の問題』との関連でー
石田恵理(お茶の水女子大学大学院)
 2. 15:40~16:10 O.F. ボルノーの実存的道德教育に関する研究
ー道德に関わる「気分の問題」を中心にしてー
佐々木哲哉(岩手県滝沢市立一本木中学校)
 3. 16:10~16:40 美意識教育と連携した道德教育の重要性と具体的展開に関する研究
ー中国の実態を中心としてー
劉麗娜(昭和女子大学大学院)
 4. 16:40~17:10 人格の完成を目指すーⅡ. 智慧の獲得と精神性の向上
藤永克昭(道都大学)・松岡是伸(名寄市立大学)
 5. 17:10~17:40 定言命法を基礎とした道德教育へーその1 純粹理性とは何かー
寺崎賢一(麗澤大学)
- ☆ 17:40~18:00 全体協議

■第2部会 道德教育理論研究部会Ⅱ (80年館5階 5S02教室)

司会: 高島元洋(お茶の水女子大学) 走井洋一(東京家政学院大学)

1. 15:10~15:40 自己犠牲についての考察
洪山昌雄(島根大学)
2. 15:40~16:10 近世日本文学に見る「義理」の道德的意義
小林加代子(お茶の水女子大学大学院)

- 3. 16:10～16:40 戦後道徳教育から失われた価値観
—「敬神崇祖」の語に着目して—
牛見真博（山口県立山口中央高等学校）
- 4. 16:40～17:10 増田義一と修養
森上優子（文部科学省）
- 5. 17:10～17:40 書道教育を通しての人間形成 —良寛の書を中心として—
渡邊祐子（昭和女子大学大学院）
- ☆ 17:40～16:00 全体協議

■第3部会 生命の教育研究部会（80年館5階 5S32教室）

司会：五條しおり（国立看護大学校） 広瀬仁郎（埼玉県羽入市立井泉小学校）

- 1. 15:10～15:40 小学校における生命倫理の授業の試み
—臓器移植を題材にした授業のあり方—
鈴木 保宏（愛知県西尾市立米津小学校）
- 2. 15:40～16:10 先人の生き方に学ぶ道徳の時間の可能性
—図画工作科との連携を通して、『生命に対する畏敬の念』を培う—
木原一彰（鳥取大学附属小学校）
- 3. 16:10～16:40 死生観の調査と道徳教育
—小学校から大学までの児童・生徒・学生に対する調査結果の考察より—
○東風安生（早稲田大学系属早稲田実業学校初等部）、中村博志（元日本女子大学）、
服部慶亘（日本大学）、佐々昌樹（まこと幼稚園）
- 4. 16:40～17:10 「生命の根源に対する畏敬の念」とはなにか
—高坂正顕の道徳教育論に着目して—
山田真由美（慶應義塾大学大学院）
- 5. 17:10～17:40 不登校の子どもを再登校に導くコンプリメント・トレーニング
—意思の力を高めネット等電子機器依存を切る—
森田直樹（香川大学教育学部附属坂出学園）
- ☆ 17:40～16:00 全体協議

■第4部会 確かな道徳性・規範意識の育成に関する研究部会（80年館5階 5S03教室）

司会：早川裕隆（上越教育大学） 植田清宏（京都市立神川小学校）

- 1. 15:10～15:40 子供の問題意識を大切にされた道徳の授業
清水良隆（愛知県岡崎市立六名小学校）
- 2. 15:40～16:10 いじめの問題に機能する道徳の時間の構築に向けて
齋藤道子（東京都文京区立大塚小学校）
- 3. 16:10～16:40 オルタナティブ学校における修復的正義(Restorative Justice)理念の
波及と実践の展開 —米国カリフォルニア州を例に—
宮古紀宏（千葉大学大学院医学研究院）
- 4. 16:40～17:10 幼児の道徳的規範意識の形成と保育者のかかわりに関する研究(1)
—道徳性及び規範意識の形成に関する研究の動向—
湯浅阿貴子（横浜創英大学）
- 5. 17:10～17:40 日本人学生対象のアンケート調査から伺える日本における愛国心教育の実情
Bayasgalan Oyuntsetseg(バヤスガラン オユンツェツェグ)（公益財団法人モラロジー研究所）
- ☆ 17:40～16:00 全体協議

■第5部会 高等学校における道徳教育研究部会（80年館5階 5S33教室）

司会：谷田増幸（兵庫教育大学） 下野厚子（兵庫県立宝塚高等学校）

- 1. 15:10～15:40 高等学校における道徳教育の展開
—『日本思想珠玉の言葉百選』を活用して—
小泉博明（文京学院大学）
- 2. 15:40～16:10 心の教育と未来を志向する道徳教育

- 森昭の「超在的他者」を手がかりに—
板倉栄一郎（開志学園高等学校）
3. 16:10～16:40 これからの社会福祉と道德教育
—高校生期の道德的価値意識の覚醒を通して—
柚木康代（東京医療保健大学）
4. 16:40～17:10 「消費者市民社会の構築を目指した倫理・道德に関する研究」
—フェアトレード、渋沢栄一「経済道德合一説」学習を事例として—
魚山秀介（帝京大学）
- ☆ 17:10～17:30 全体協議

■第6部会 「特別の教科道德」（仮称）に関する研究部会（80年館5階 5S04教室）

司会：柴原弘志（京都市教育委員会） 白木みどり（金沢工業大学）

1. 15:10～15:40 「教科」道德の憲法基盤 —教科化をめぐる憲法学説—
池田哲之（鹿児島女子短期大学）
2. 15:40～16:10 諸外国を参考に「特別の教科 道德」を設計する（1）
— アメリカの人格教育から —
新井浅浩（城西大学）、押谷由夫（昭和女子大学）、貝塚茂樹（武蔵野大学）、
関根明伸（国土舘大学）、西野真由美（国立教育政策研究所）、
松本美奈（読売新聞社）、○柳沼良太（岐阜大学）
3. 16:10～16:40 諸外国を参考に「特別の教科 道德」を設計する（2）
— 韓国の道德科から —
新井浅浩（城西大学）、押谷由夫（昭和女子大学）、貝塚茂樹（武蔵野大学）、
○関根明伸（国土舘大学）、西野真由美（国立教育政策研究所）、
松本美奈（読売新聞社）、柳沼良太（岐阜大学）
4. 16:40～17:10 諸外国を参考に「特別の教科 道德」を設計する（3）
— イギリスの人格・価値教育から —
○新井浅浩（城西大学）、押谷由夫（昭和女子大学）、貝塚茂樹（武蔵野大学）、
関根明伸（国土舘大学）、西野真由美（国立教育政策研究所）、
松本美奈（読売新聞社）、柳沼良太（岐阜大学）
5. 17:10～17:40 諸外国を参考に「特別の教科 道德」を設計する（4）
— コンピテンシーと価値をつなぐ —
新井浅浩（城西大学）、押谷由夫（昭和女子大学）、貝塚茂樹（武蔵野大学）、関根明伸（国土舘
大学）、○西野真由美（国立教育政策研究所）、松本美奈（読売新聞社）、柳沼良太（岐阜大学）
- ☆ 17:40～16:00 全体協議

■第7部会 道德の授業の多様な展開に関する研究部会（80年館西棟5階 5L44教室）

司会：毛内嘉威（秋田公立美術大学） 植田和也（香川大学）

1. 15:10～15:40 「夢と希望をつなぐ小中連続道德授業～市原市A中学校区での取り組み～」
諸富祥彦（明治大学）、○土田雄一（千葉大学）、松田憲子（習志野市総合教育センター）、
村田正実、秋山里和、岡田直美、鈴木陽介、坂本千代（八王子市立山田小学校）
2. 15:40～16:10 人権意識を育む道德 — ハンセン病の学習を通して —
諸富祥彦（明治大学）、土田雄一（千葉大学）、松田憲子（習志野市総合教育センター）、
村田正実、秋山里和、岡田直美、鈴木陽介、○坂本千代（八王子市立山田小学校）
3. 16:10～16:40 多角的思考力を高める道德授業 — ウェビングの授業を通して —
諸富祥彦（明治大学）、土田雄一（千葉大学）、○松田憲子（習志野市総合教育センター）、
村田正実、秋山里和、岡田直美、鈴木陽介、坂本千代（八王子市立山田小学校）
4. 16:40～17:10 「道德的な心情」に関する理論の構築
中野康一（鳴門教育大学大学院）
5. 17:10～17:40 『問いの視覚化』を中心とした発問の工夫
加藤宣行（筑波大学附属小学校）
- ☆ 17:40～16:00 全体協議

■第8部会 道德教育の多様な展開に関する研究部会 (80年館西棟4階 4S41教室)

司会：山西実(埼玉県幸手市教育委員会) 名倉裕一(安城生活福祉高等専門学校)

1. 15:10～15:40 幼児期の養護性(道德性)を育むために
— 幼少連携教育カリキュラム論を踏まえて —
淀澤勝治(兵庫教育大学)
 2. 15:40～16:10 教科化を見据えた大学における指導
— 道德の授業ができる教員の育成を目指して —
牧崎幸夫(龍谷大学)
 3. 16:10～16:40 道德的実践につながる道德的実践力を高める、生徒指導と関連付けた
道德教育 — 道德の教科化に向けて —
中野真悟(愛知県刈谷市立小垣江東小学校)
 4. 16:40～17:10 道德教育推進教師による道德授業の改善
— 道德的実践力を高める発展的授業 —
大蔵純子(岐阜県笠松町立下羽栗小学校)
 5. 17:10～17:40 スペインにおける児童を対象とした道德教育の実践
— Jose Luis Cotallo カセレス司教区学校初等教育課程の事例 —
村越純子(埼玉大学)
- ☆ 17:40～16:00 全体協議

■第9部会 道德の教材開発と活用に関する研究部会 (80年館西棟4階 4S42教室)

司会：行本美知子(兵庫教育大学) 川崎達也(東京都東村山市立東村山第七中学校)

1. 15:10～15:40 文学的な資料における文学的テーマと道德的テーマの関係
石丸憲一(創価大学)
 2. 15:40～16:10 生徒の心を育てる魅力的な視聴覚教材の開発
— インターネット(アニメーション)動画の活用を通して —
松原好広(荒川区立第四中学校)
 3. 16:10～16:40 自作資料への挑戦 — 授業の展開を意識して —
藤井裕喜(京都市立大宅中学校)
 4. 16:40～17:10 歴史的事例の探究を通じた道德教育の可能性
— 「水晶の夜」における人々の選択を教える授業プランに着目して —
原口友輝(中京大学)
 5. 17:10～17:40 源信と法然の思想に基づく道德資料の作成と考察
岩瀬真寿美(名古屋産業大学)
- ☆ 17:40～16:00 全体協議

■第10部会 道德教育の評価と多様な展開に関する研究部会

(80年館西棟3階3S41教室)

司会：田沼茂紀(國學院大學) 田邊重任(高知大学)

1. 15:10～15:40 道德の時間の評価に関する実践的研究 — 教科化に向けての取り組み —
富岡栄(群馬県高崎市立第一中学校)
2. 15:40～16:10 場と空間感を共に創りながらの道德授業
— 道德授業の指導方法・評価の在り方を求めて —
柴田 八重子(愛知淑徳大学)
3. 16:10～16:40 中学校道德の多角的評価方法 — 認知的・情緒的・行動的側面の見地から —
○土井 智文(岐阜大学教職大学院)・柳沼 良太(岐阜大学)
4. 16:40～17:10 形骸化の原因一定義不在の道德を解明\現行徳目、偉人伝教育の不道德性(修身との類似)\今後のあり方 = 沈没した韓国船船長の命は大切ではないのか? =
橋本唯隆(教育研究者)
5. 17:10～17:40 飾りじゃない “道德の時間”をめざして
～ 道德教育推進教師ができること～
永吉洋子(大阪府河内長野市立西中学校)

☆ 17:40～16:00 全体協議

■第11部会 魅力的な道徳の授業と「私たちの道徳」の活用に関する研究部会

(80年館西棟3階 3S43教室)

司会：七條正典(香川大学) 齊藤誠(富山県教育委員会)

1. 15:10～15:40 モラル・アフォーダンス獲得の道徳授業の構想
— 道徳的心情と道徳的判断力を育てる道徳授業の課題克服を目指して—
吉田誠(山形大学)
2. 15:40～16:10 道徳の時間が楽しい、面白い授業を目指して
— 道徳的価値およびそれに基づいた人間としての生き方についての自覚を深めるために—
松原弘(大阪府和泉市立郷荘中学校)
3. 16:10～16:40 中学校における「私たちの道徳」を活用した保健体育科授業の進め方
○加藤真也(京都市立伏見中学校)、奥村光太郎(龍谷大学)
4. 16:40～17:10 中学校における「私たちの道徳」を活用した社会科授業の進め方
○奥村光太郎(龍谷大学)、加藤真也(京都市立伏見中学校)

☆ 17:10～17:30 全体協議

懇親会 18:20～20:10 (学園本部館3階 大会議室)

第2日目 7月6日(日)

8:30～ 受付(人見記念講堂 ロビー)

9:00～9:50 総会(人見記念講堂)

10:00～12:00

シンポジウム 2 「道徳の「特別の教科」化と学校教育改革」(人見記念講堂)

「特別の教科」道徳の設置に向けて審議がなされています。その動向を踏まえながら「特別の教科」道徳の意義と学校教育改革に果たす役割、具体的取り組みへの提案などについて議論を深めます。

司会・コーディネーター 押谷由夫(昭和女子大学教授)

シンポジスト 無藤隆(白梅学園大学教授)

諸富祥彦(明治大学教授)

西野真由美(国立教育政策研究所総括研究官)

木下美紀(福岡県福津市立津屋崎小学校主幹教諭)

12:00～13:00 昼食・休憩(80年館1階 学生ホール)

(12:10～13:00) 評議員会 (本部館3階中会議室)

13:00～14:00 講演 「品格を育てる道徳教育」

坂東眞理子 昭和女子大学学長・理事長

ベストセラー『女性の品格』『親の品格』等の著者であり、昭和女子大学の学長・理事長であられる坂東眞理子先生から、品格を育てる道徳教育について講演をいただきます。

14:10～16:40

シンポジウム 3 「みんなで考え、取り組み、広めよう！ 日本の道徳の心」

東日本大震災における被災地の皆さんの行動や生き方について世界から称賛されま

した。復興に向けて世界が注目しています。また6年後には東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。そのことを見据えて、今こそ日本国民が大切にしてきた道徳心を確認し、今日的視点からとらえなおし、真の道義国家日本の姿を世界に発信していくときであると考えます。そのような視点から日常生活を基盤にした道徳心の育成について皆さんと一緒に考えていきます。

司会・コーディネーター 松本美奈（読売新聞編集委員）
シンポジスト 横山利弘（関西学院大学名誉教授、本学会名誉会長）
塩見みづ枝（文部科学省教育課程課課長）
興梶寛（昭和女子大学特任教授 世田谷ボランティア協会理事長）
尾上浩一（日本PTA全国協議会会長）

16：40～16：50 閉会式

第84回大会運営委員長挨拶 田邊重任（高知大学）
日本道徳教育学会副会長挨拶 高島元洋（お茶の水女子大学）

★ お願い ★ （必ずお読みください）

1. 研究発表される皆様へ

- ① 各部会の最後に全体協議をしますので会場に残ってください。
- ② 発表取消(欠席) 発表を取消(発表者が欠席する)の場合には、大会前日(7月4日)までに上記の大会実行委員会にお知らせください。
- ③ 当日配布資料 当日別途資料を配布される場合は、分科会名・氏名を明記し、50部以上ご用意ください。万一不足の場合、大会本部ではコピー等いたしかねますのでご了承ください。各分科会の係員に当日、早めにご提出ください。
- ④ 各部会にはプロジェクターとパソコンを用意しています。なお、パソコンを持参される場合はそれを使っていただけます。

2. 司会者の皆様へ 打ち合わせの時間は設けておりません。司会者同士でお願いします。

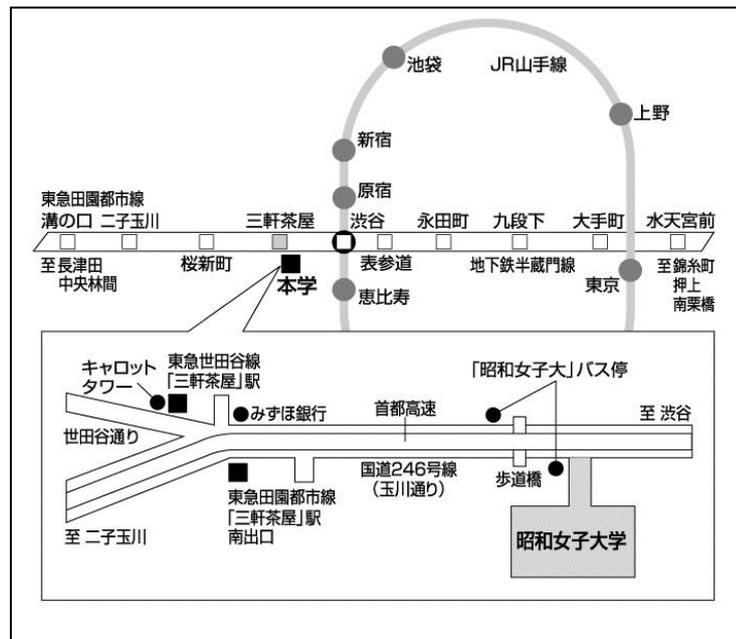
3. シンポジストの皆様へ 打ち合わせについては別途ご連絡します。

4. 参加いただく皆様へ

- ① クローク 7月5日の自由研究発表の時間帯(3時～6時)のみ、80年館5階のロビー受付でお預かりします。
★ 貴重品は各自でご持参ください。
- ② 会員休憩室 80年館1階の学生ホールをご利用ください。
★ 喫煙場所は研究館の裏側に設置されています。ここ以外は禁煙ですのでよろしくお願いします。
- ③ 昼食 7月5日は学生食堂(大学1号館地下)が開いています。80年館1階の学生ホールには自動販売機があります。
★ 7月6日は昼食を申し込んでいただくことができます。1000円(お茶付)です。
- ④ 宿泊 会場は渋谷の近くです。渋谷駅(地下鉄、バスともに大学まで15分弱)周辺が便利かと思えます。申し訳ございませんが、各自でご予約ください。

昭和女子大学

■ アクセスマップ ■



(昭和女子大学ウェブサイト <http://www.swu.ac.jp>)

■ 交通案内 ■

1. 渋谷駅から (約 15 分)

- ①地下鉄・田園都市線渋谷駅 → 三軒茶屋駅 (徒歩約 7 分)
- ②バ ス・西口バスターミナル 34 番乗り場 → 昭和女子大前
34 番乗り場から発車するバスは全て昭和女子大前に停車します。(正門前着)

2. 品川駅から (約 30 分)

- ① J R 品川駅 → J R 渋谷駅 → 地下鉄田園都市線渋谷駅 → 三軒茶屋駅
- ② J R 品川駅 → J R 渋谷駅 → バス乗り場 34 番 → 昭和女子大前

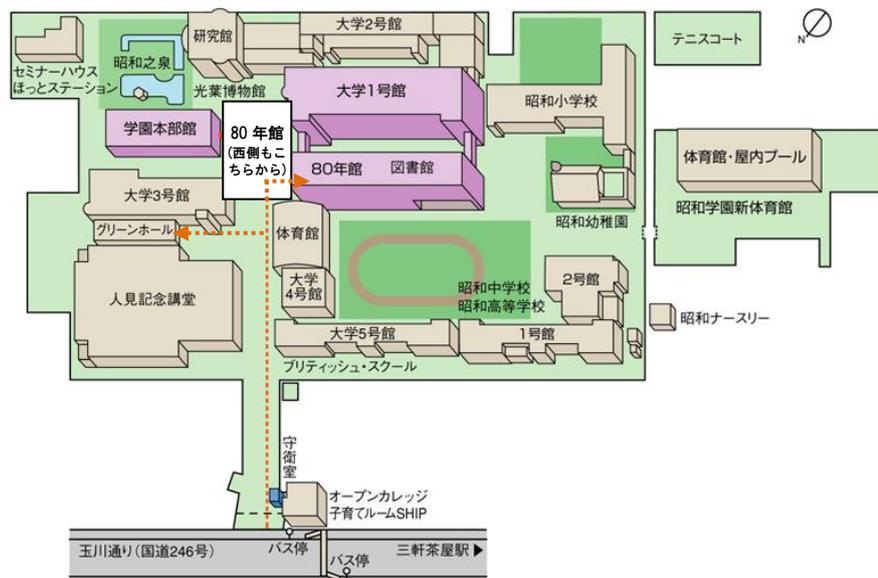
3. 東京駅から (約 40 分)

- ①地下鉄銀座線東京駅 → 表参道駅 → 半蔵門線表参道駅 → 三軒茶屋駅
- ② J R 東京駅 → J R 渋谷駅 → バス乗り場 34 番 → 昭和女子大前

4. 羽田空港から (約 50 分)

- ①京急羽田空港駅 → 京急品川駅 → J R 品川駅 → J R 渋谷駅 → 地下鉄田園都市線渋谷駅 → 三軒茶屋駅
- ②京急羽田空港駅 → 京急品川駅 → J R 品川駅 → J R 渋谷駅 → バス乗り場 34 番 → 昭和女子大学

昭和女子大学構内案内図



日本道徳教育学会一般公開フォーラム

今年は道徳教育においてエポックメイキングな年となります。学校教育においては道徳の教科化について具体化されることが予想されます。また、東日本大震災からの復興も本格化します。さらに6年後の東京オリンピック・パラリンピックに向けて始動します

このようなときに、本学会では、学会の役割を認識しつつ、より広く国民に道徳教育の大切さを訴え関心をもつていただけるようにと以下のようなテーマを設定し、一般公開することになりました。

だれでも参加いただけます。多くの皆様のお越しをお待ちしております。

始めましょう！モラル・ジャパン・プロジェクト

— 「みんなの道徳」を目指して考え話し合しましょう —

日 時 : 平成26年7月6日(日) 10:00~16:40

場 所 : 昭和女子大学 人見記念講堂

参加費 : 1000円 (資料代も含む) 当日受付にて

*尚、日本道徳教育学会は7月5日、6日と開催されます。2日間参加の場合は2000円になります。詳しくは<http://doutoku-gakkai.sakura.ne.jp/>をご覧ください。

文部科学省
後援

シンポジウム (10:00~12:00) : 「道徳の特別教科化で学校教育はどう変わるのか」

コーディネーター : 押谷由夫 (昭和女子大学大学院教授)

シンポジスト : 無藤隆 (白梅学園大学教授)

諸富祥彦 (明治大学教授)

西野真由美 (国立教育政策研究所総括研究官)

木下美紀 (福岡県福津市立津屋崎小学校主幹教諭)

講演 (13:00~14:00) : 「品格を育てる道徳教育」

講演者 : 坂東真理子 (昭和女子大学学長・『女性の品格』等の著者)

シンポジウム (14:10~16:40) : 「みんなで考え、取り組み、広めよう！日本の道徳の心」

コーディネーター : 松本美奈 (読売新聞編集委員)

シンポジスト : 横山利弘 (関西学院大学名誉教授、本学会名誉会長)

塩見みづ枝 (文部科学省教育課程課課長)

興相寛 (昭和女子大学特任教授、世田谷ボランティア協会理事長)

尾上浩一 (日本PTA全国協議会会長)

参加申込方法

どなたでも参加できます (いつでも申し込み可能です)

■参加申込方法 (①か②の方法、又は裏面のFAX申込書にてお申込み下さい。)

① 郵送 : 官製はがきに住所・氏名・電話番号・職業をご記入の上、参加日と、6日の昼食希望、5日の懇親会参加希望があれば明記してご投函下さい。

【郵送先住所】〒154-8533 東京都世田谷区太子堂1-7 昭和女子大学 押谷由夫

② E-mail : メールでお申込みの方は、姓名に「日本道徳教育学会 83 回大会申込み希望」と記入の上、住所・氏名・職業、参加日、6日の昼食希望、5日の懇親会参加希望があれば本文に記載し、

右記のアドレスにご送信下さい。【メールアドレス】oshitani@swu.ac.jp

7月5日のプログラムは次の通りです

- 12:40 開会式（グリーンホール）
- 13:00 シンポジウム1（道徳教育改革を支える理論を構築する）
コーディネーター 行安茂（岡山大学名誉教授、本学会会長代行）
シンポジスト 宮寺晃夫（筑波大学名誉教授）
貝塚茂樹（武蔵野大学教授）
伴恒信（鳴門教育大学教授）
- 15:00 休憩
- 15:10 自由研究発表（11分科会会場で54件の発表があります）
一人20分発表、10分質疑応答、部会発表後20分の研究協議
- 18:00 移動
- 18:20 懇親会（学園本部館3階大会議室 参加費 4000円）

★ 日本道徳教育学会は7月5日、6日にわたって開催されます。2日とも参加を希望される場合は、参加費2000円になります。誰でも参加できます。

F A X 申 込 書

下記の申込用紙に必要事項をご記入の上、右記FAX番号までご送信ください。

FAX. 03-3411-6358

所属 (学校名等)	
氏名	
住所	〒
電話番号	
E-mail	
ご希望される個所に○をして下さい	・7月5日参加 ・7月6日参加 ・6日昼食(1000円)注文 ・5日懇親会(4000円)参加

お問い合わせ先

昭和女子大学 押谷由夫研究室

〒154-8533 東京都世田谷区太子堂1-7
ホームページ <http://oshitani.sakura.ne.jp/>